



今月は3団体の申請がありました。

NPO担当では、法人申請の相談も受け付けています。書類の書き方、申請方法のわからない方、お気軽にご相談ください。

県内の市民活動 イベントのスケジュール

5月～6月に三重県内各地で開催される市民活動のイベントを事前にお知らせします。

ネットワークのよびかけ

今月は5件あります。さまざまなジャンルから情報が寄せられています。よびかけに応えることで、市民活動への一歩を踏み出してください。

助成金情報

市民活動を資金面からサポートする助成金情報です。活動内容に合わせて生かしてください。今月号は7件の情報を掲載しています。

NPOリレーインタビュー

おくの みつこ
「南三重バサラ会」副会長 **奥野光子**さん

5月5日に、自分たちで考えたてづくりの祭り「伊勢の国 ふるさと祭り」を開催する南三重バサラ会。奥野さんはこの会の発起人であり、中心メンバーの一人として活躍されています。

情報をお寄せください。市民がつくる市民活動の情報です。

発行

514-0009

津市羽所町700番地

アスト津3階

みえ市民活動ボランティアセンター

Tel.059-222-5981

Fax.059-222-5971

E-mail open@mienpo.net

県NPOチームホームページ

<http://www.mienpo.net/>

三重県のホームページ

<http://www.pref.mie.jp>

イベントスケジュール

伊勢の国 ふるさと祭り

とき / 5月5日(祝)AM10:00 ~
 ところ / 三重県営サンアリーナ(伊勢市)
 内容 / ソーラン踊り、地元民舞、創作ダンスなどの競演、2000人による総おどりのほか、こどもの日スペシャルとして「ハリ・ポッターの世界で遊ぼう!」こども宇宙服を着よう!「ベイブレード大会」を企画。地場産業物産展、太鼓の競演もあります。なお、「ゴミの出ないまつり」を目指しているため、できるだけコップ、皿などの食器、ゴミ袋を持参してください。

主催・問い合わせ先 / 南三重パサラ会事務局
 Tel.0596-22-0426 Fax.0596-24-0650



申込・問い合わせ先 / 地産地消ネットワークみえ事務局
 Tel.059-259-0859 Fax.059-259-0862
 E-mail tisantisho-mie@mate.pref.mie.jp
 ホームページ http://mie.ecodes.ne.jp/titi/

伊勢志摩の市民活動をちょっとだけ体験&交流 「PO・NPO・Nキャンプ in KOA」

とき / 5月18日(土)PM1:00 ~ PM10:00
 5月19日(日)AM10:00 ~ PM3:00
 ところ / KOA伊勢志摩キャンプグラウンド
 参加費 / 500円(2日間通し券。保険代込)
 内容 / 伊勢志摩の市民活動のこと!NPOのあれこれ!が参加&体験型でちょっとだけわかる...かもしれないキャンプスタイルのNPOフォーラム!1日目は、環境・食育・防災・自然など様々なジャンルの「参加型プチセミナー」とPM6:00から始まるビデオ上映などを交えた市民活動交流会「夜なべ談義」が目玉。2日目は、バリアフリー・日曜大工・障害者力又一体験サポート・伊勢志摩の素材を使った料理のふるまいなど、やってみたいボランティアを選んでちょこっとだけ体験できる「ちょこボラ体験」が目玉。その他、キャンプ場の自然を生かした星空教室・野鳥観察・パネル展示のオリエンテーリング・フィールドでのマジックなど、楽しいオプションメニューもてんこ盛り。キャンプ場に宿泊して2日間を満喫するのも、1時間だけの気軽な参加でもOK!みんなでのんびり楽しみましょう!詳しい内容については問い合わせを(雨天の場合は一部変更で決行。宿泊は別途料金)

主催・問い合わせ先 / (特)伊勢志摩NPOネットワークの会
 Tel.0596-20-6616 E-mail ponpon@mint.or.jp
 共催 / 三重県南勢志摩県民局

地産地消ネットワークから

(1)「地産地消ネットワークみえプロジェクト活動募集」
 地産地消運動を多くの方に理解していただき、県民運動として盛り上げていくため、広く地産地消ネットワークみえ(代表:石田正昭 三重大学生物資源学部教授)の会員(現在会員数:6542人)の募集を行うとともに、会員の地産地消に関する活動を募集し、その活動に対し内容を審査のうえ、30万円を上限に総額750万円(前年当初予算額 300万円)の範囲内で経費を支給します。

【募集概要】

受付締切 / 5月24日(金)
 後期募集期間(予定)8月19日(月)~9月13日(金)
 対象となる団体・個人 / 地産地消ネットワークみえの会員(新規参加者も可)
 対象となる活動 / 地元の食材を学校給食に活用する取り組み、消費者と生産者の交流を進める取り組み、地元食材を使った料理教室等の開催、台所の生ゴミを堆肥化し、地域の農地に還元する取り組みなど、地産地消運動を拡大していく活動です。
 応募方法 / 申請書類を地産地消ネットワークみえへ提出。郵送も可。申請用紙は、県久居庁舎内の(財)三重県農林水産支援センターのほか、各県民局農林(水産)商工部でお渡ししています。

(2)「13年度プロジェクト活動報告会」

とき / 5月11日(土)PM1:00 ~ PM4:00
 ところ / 三重県総合文化センター小ホール
 (津市一身田上津部田1234番地)
 参加費 / 無料(事前申込不要)
 内容 / 地産地消運動とネットワーク会員拡大と、プロジェクト活動の内容の充実及び活動募集を図るため、13年度に地産地消ネットワークみえの会員が実施したプロジェクト活動の報告会を開催します。13年度は56件の応募があり、審査の結果28件の活動(支給額565万円)を実施しました。その中の8グループが活動内容を報告し、その他のグループの活動を会場内に掲示します。また、生産者との交流を深める農産物直売も実施します。

【活動報告】

鈴亀生活グループ『あなたが作った大豆で味噌&豆腐作り体験しませんか』フルフルM.I.T『さわってみよう!食べてみよう!感じてみよう!地元農産物』ハラベコあおむし『生産地・販売所のマップ作りとツアー』相可高校食物調理科『わたしたちから始める地産地消運動』三雲町立鶴小学校『育てた大豆や三雲町のいちごでお菓子作り・堆肥づくり』レタス倶楽部『求められる食材は地元から』飯南町生ゴミ堆肥化研究グループ、みえ食文化研究会『みえの食材辞典(仮称)づくり』

第14回車イス ふれあい体験・ウォークラリー(車イスウォークラリー)

とき / 5月19日(日)受付AM8:30 開会AM9:30 ~
 (雨天時5月26日) ところ / 津センターパレス2階集合
 内容 / ウォークラリーとは、渡されたコース図を解読しながら、コース途中にいくつも設けられたチェックポイントやゲームポイントの問題を解決し、ゴールを目指す屋外のレクリエーションスポーツです。車イスふれあい体験ウォークラリーでは、1チームに1台車イスを使ってもらい、交代で車イスに乗ることにより、自分たちの住む街の便利さ、不便さを体験してもらいます。このウォークラリーは「だれでも参加できるウォークラリー」を合言葉とした障害のある、なしに関係なく楽しめるものです。チェックポイント、ゲームポイントでの、福祉に関係したゲームなども全てボランティアの実行委員の手作りで準備・運営します。



持ち物 / 昼食、お茶、帽子、タオルなど。
 応募締切 / 5月16日(木)
 申込方法 / 申込書にチーム名、氏名、性別、年齢、住所、電話番号、障害の有無、雨天順延の参加の有無などを記入し郵送またはFaxで下記まで。1チーム最低4人でゲームを行いますので、できれば4~6人のグループで申込んでください。4人以下でも参加できますが、その場合は他のグループ・個人と混成チームとなります。

申込・問い合わせ先 / 514-0027 津市大門7-15
 津市社会福祉協議会「車イスウォークラリー」係

Tel.059-213-7111 Fax.059-224-6067

E-mail shakyo@tsu-shakyo.or.jp

【ボランティアスタッフ大募集】

車イスウォークラリーの企画・準備・運営をするボランティア(実行委員)を募集しています。メンバーは津市周辺を中心に中学生から社会人まで幅広く参加します。イベントをするのが好きな人、福祉に興味のある人、なかま作りをしたい人、その他誰でも、みんな集まってワイワイ楽しく行いたいと思います。気軽にのぞいてください。実行委員会は毎週金曜日夜PM6:30~9:00、津市市民活動センター3階で行っています。

「パートナーシップ宣言は達成されたか」~協働の検証~ 変わりつつある三重県の「協働」のいまを語る場に参加しませんか。

とき / 5月25日(土)PM2:00~PM5:00

ところ / みえ県民交流センター(アスト津3階)

参加費 / 300円 募集人数 / 50人程度

内容 / 「みえNPO研究会」の熱気から4年、県内にはさまざまなネットワーク、支援センターができ、各地での活動も活発化しています。県域全体としては歓迎すべきことですが、市民社会へ向かうための協働に対する取り組みはどうかという点、理解は進んできたと思う反面、個々の取り組みにはまだまだ違和感を抱かせるものも多いようです。また、この状況の進捗を受けて、三重県NPOチームでは「みえ市民活動ボランティアセンター」を「協働センター(仮称)」へと大きく行政施策の方針を転換しようとしています。そこで、4年を経た「みえNPO研究会」委員を中心に再度お集まりいただき、「パートナーシップ宣言は達成されたか」について検証の機会をもち、今後の方向性を確認したいと思います。対象は市民活動団体、各地のネットワーク、支援センター関係者等です。

問い合わせ先 / 服部則仁

E-mail mirai-work@mta.biglobe.ne.jp

吉島隆子 E-mail Z4K7H@fuga.plala.or.jp

MIEチャイルドライン創立総会

とき / 5月25日(土)PM2:00~

ところ / 三重県総合文化センター男女共同参画センター

内容 / MIEチャイルドラインは、母体である特定非営利活動法人三重県子どもNPOサポートセンターのミッションである「全人的発達」と「社会参画」をコンセプトに実施している「青少年による青少年のための電話」です。当日はMIEチャイルドラインの創立総会を開催すると共に総会后、参議院議員であり、チャイルドライン議員連盟所属の小宮山洋子さんによる講演を行います。またPM5:00~PM7:00にレセプションも行います。

申込・問い合わせ先 / 514-0002 津市島崎町132-40

特定非営利活動法人 三重県子どもNPOサポートセンター

Tel.059-223-4944 Fax.059-223-3100

E-mail kodomo@aqua.famille.ne.jp

THE STRIPES

とき / 5月26日(日)PM7:00~

ところ / 四日市市文化会館第1ホール

特別会員券 / 一般4000円 18歳まで2500円

内容 / THE STRIPESとはリーダーである火口秀幸、小勝久生、浦上雄次という3人のタッパーとパーカッショニストの吉崎紀康で構成されたリズムタップパフォーマンスグループです。彼らはロックダンスと呼ばれた黒人のストリート系リズムタップをベースに、自分たちが作り出す音楽とステップを融合させたスタイルを「Funk-a-Step」と呼び、独自の世界を築き上げています。ステージの4人はダンサー、アクター、ミュージシャンの狭間を变幻自在に行き来する

無敵のパフォーマー。肉体の動きが作り出すリズム、理屈抜きに身体からあふれてくる興奮、躍動感に単に鑑賞するというスタンスからもう一歩踏み込んだレベルの楽しみを与えてくれることでしょう。

申込・問い合わせ先 / 四日市市西町15-16 特定非営利活動法人三泗地区子ども劇場センター Tel.&Fax.0593-51-6367 E-mail sansic-c@cello.ocn.ne.jp

第②回 動物福祉推進セミナー

とき / 5月26日(日)PM1:00~PM3:00

ところ / みえ県民交流センター ミーティングルーム3・4

(アスト津3階) 参加費 / 無料

内容 / 人と動物とのよりよい関係とは、どのようであるべきか。そのような関係を築き維持するために私たちは何をすべきか、あるいは何ができるのか、友に学び考えるためのセミナーです。今回の講師は、サルに発信器を付け、生態調査をするとともに、農作物が被害にあう前にサルの群れを追い払うことで、人間とサルが共存できるように努力されている、三重県環境部人と自然の環境共生チーム野生生物グループの鈴木義久さんです。

申込・問い合わせ先 / 武本(NPO法人)人と動物との共生をめざす会(会員) Tel.090-1728-5144

E-mail takemoto-m@luck.ocn.ne.jp

チャリティー企画 現代国際巨匠絵画展

ふりそそぐフランスの陽光 ジャック・ムニエ画伯特別招待展

とき / 6月1日(土)~6月3日(月)AM10:00~PM7:00

(最終日はPM6:30) 参加費 / 入場無料

ところ / 高田青少年会館(高田本山内・津市一身田町2819)

内容 / 今回『現代国際巨匠絵画展』を(株)アートフォレストの協力により開催することになりました。ピカソ、シャガール、東山魁夷、平山郁夫などの内外の作家を含め120点(版画など)を一室に展示し、ご希望があれば販売いたします。その売上の一部をチャリティーとして通所授産施設建設資金の一部として大切に活用させていただきます。また、フランスよりジャック・ムニエ画伯をお招きしてサイン会(連日AM11:00、PM2:00、PM4:00開催)なども計画しています。ワイワイと楽しい絵画展にしたいと思っています。どうぞ普段着のままでお気軽にお立ち寄りください。

とき / 5月1日(水)PM2:00・PM7:30、5月16日(木)

PM7:30、5月24日(金)PM7:30

ところ / ほほえみセンター 研修室

問い合わせ先 / 安芸郡河芸町浜田868 河芸しいのみ作業所 ほほえみセンター内 Tel.059-245-8888

(担当: 田中、鈴村)

主催 / 河芸しいのみ作業所チャリティー絵画展実行委員会

【実行委員募集】

絵画展開催にあたり、実行委員を募集しています。実行委員としてお願いすることは、お知り合いの方に絵画展へのご招待を薦めていただくこと、当日のお手伝いなどです。実行委員会を以下の日時で行いますので、ご参加くださるようよろしくお願い致します。

ネットワークのよびかけ

わが町歩こう委員募集

なら街道推進委員会では小学、中学、学生さんや広く一般にも参加していただくNPO「わが町歩こう委員」を広く募集いたします。「わが町歩こう委員会」は、歩きたいな、住みたいな、「ホットなまちづくりをめざす」みえのまんなか学のすすめを県や市など行政とNPOが協働で行うもので、土曜日、日曜日に子どもたちとともに、大人も一

緒に参加する市民参加型の委員を広く募集し、ふるさとの文化、歴史を実地に見学しまちの人々と交流をはかり、自由に楽しく遊びごころで学べるまちづくりの委員会なのです。委員会では次のようなことを行います。

- 1・三重県民文化祭圏域別フェスタに参加します。
- 2・芭蕉も通い慣れた「なら街道」ウォーキングに参加します。
- 3・みんなで植樹祭やふるさとの里山デーに参加します。
- 4・まちのお寺や遺跡を回り楽しいお話を聞きます。

きっと楽しい出会いがあります。お集まりください。

問い合わせ先 / なら街道推進委員会事務局
Tel.059-255-2651

だくさんのナイスプログラムを用意しています。

とき / 6月15日(土)

PM1:30開場 PM2:00開演

ところ / 鈴鹿市文化会館・けやきホール

(鈴鹿市飯野寺家810 Tel.0593-82-8111)

参加費 / 前売大人2500円 中学生1500円 小学生1000円

申込・問い合わせ先 / 矢吹紫帆コンサート事務局

Tel.&Fax.0593-78-2080

主催 / 21世紀・暮らしといのちを楽しむ会

後援 / 三重県、鈴鹿市、(財)鈴鹿市文化振興事業団

ちいさがいじゅうがいにくじん しよきゅうにほんごこうざ 地域在住外国人のための初級日本語講座

地域に暮らしている外国人や留学生および家族のみなさんで、まだ日本語を学習した経験が無い人を対象として、日常生活に必要な初級日本語の基礎を習得します。昼間は学業や仕事で時間のない人も、この機会を利用して日本語を学習してください。全期間休まないで出席できることが条件。講師は大野陽子さん、藤本久司さん、森由紀さんです。

期間 / 5月9日(木)~7月26日(金)
毎週月・木・金の週3日(ぜんぶで35回)午後6時から7時半まで
教室 / 三重大学共通教育校舎1号館3階・301

受講料 / 無料(ただし、教科書は各自で買ってください。三重大学生協書籍部で売っています)

申込期限 / 5月1日(水)
申込先 / 学務部留学生課留学生センター

Tel.059-231-9707
コーディネーター / 留学生センター教官(森)

Tel.059-231-9203



NHKからの提案 情報をラジオで発信しませんか!

NHK名古屋放送局では、4月から新しいラジオ番組『あいちぎふ・みえ』なごやか情報局』をスタートさせました。放送は、ラジオ第一放送で毎週木曜日、PM3:10~PM4:00です。イベントや町おこしの取り組みなど、地域情報満載の番組です。みなさんも、この番組で情報を発信しませんか!例えば「イベントに来てください!」ボランティアを募集しています! etc. 放送エリアは東海3県。県外からの参加者も期待できます。公共放送のNHKですので、もちろん無料で情報発信できます。なお、営利的目的の企画の紹介はできません。

問い合わせ先 / NHK名古屋放送局「なごやか放送局」
Tel.052-952-7287 Fax.052-952-7363
E-mail nagoyaka@nagoya.nhk.or.jp

スタッフ募集 & やさしさいっぱい そよ風のコンサート

世界的シンセサイザー奏者、矢吹紫帆さんのコンサートでは、一緒につくってくださる方(ボランティアスタッフ)を大募集中。気軽にお問い合わせください。当日は世界遺産候補である「熊野古道」の素敵な風景を音楽と映像でお届けするほか、参加者のことば、イメージをその場で華麗でやさしい音楽としてプレゼントします。すずかの文化も音楽として表現。そのほか、もり



~サンフランシスコ発~ NPOボランティア体験プログラム

このプログラムは、3週間にわたってセミナーやボランティアなどを体験し、アメリカ多文化社会やNPOを総合的に習得してもらうというものです。セミナー受講やボランティア活動のほか、JPRNならではのNPO観光ツアーともいえるウォーキングツアーやフィールドトリップ、さらにアメリカのNPOで活躍をされている日本人をゲストに招いての講義などを通し、NPOやNPOが置かれているアメリカの異文化社会を実際に肌で感じながらアメリカの市民セクターを学ぶプログラムになっています。なお、プログラムの詳細、スケジュール及び申込用紙などは下記のホームページからダウンロードできます。

受付締切 / 7月1日(月) 必着
プログラムの目的 / アメリカの社会のしくみやNPOを総合的に習得できる体験型トレーニングを通して青少年のNPOセクターに対する総合的な理解と活動意欲を満たすとともに国際的な視野を備えたグローバルな人材育成を目指します。

募集の対象となる個人 / 学生や社会人で、NPOやボランティアやインターンシップ、アメリカの文化に興味がある人。将来、日本やアメリカのNPOに就職を考えている人。また、NPO活動に興味を持っているが専門的な知識や活動経験がないため次のステップに移せないでいる人など。実務経験は不問。海外旅行ができる程度の英語力が必要。

実施場所 / 米国サンフランシスコ・ベイエリア
実施期間 / 2002年夏期...第1回 8月30日(金)~9月17日(火) 第2回 10月11日(金)~10月29日(火)
募集人員 / 10名程度(最少催行人数5名)
参加費 / 12万~14万円(現地プログラム研修費のみ)
問い合わせ先 / 日本太平洋資料ネットワーク(JPRN=Japan Pacific Resource Network)

【東京オフィス】104-0061 東京都中央区銀座8-12-11
第2サンビル6階 Tel.03-3524-8821 Fax.03-3524-8825 E-mail akane@jprn.org (担当:野房あかね)
ホームページ www.jprn.org

みなさんへのお知らせ

【NPO担当から】
特定非営利活動法人(NPO法人)申請は3団体ありました。引き続き、認証申請を受け付けています。申請のあった団体と成立した法人を紹介します。なお、関係書類は三重県生活部生活課NPO担当及び各県民局生活環境部に備え置いてあります。
認証申請団体
(1)名称、(2)申請年月日、(3)代表者の氏名、(4)法人の事務所の所在地、(5)縦覧期間、(6)認証の種別、(7)定款に記載された目的。

【127】
(1)特定非営利活動法人権ネットワークやほか
(2)平成14年4月3日

- (3) 高見 晋一
- (4) 上野市八幡町3296番地の1
- (5) 平成14年6月3日まで
- (6) 設立
- (7) この法人は、広く上野市民全体に対して、人権啓発及び生活改善に関する事業を行い、もって上野市民に寄与することを目的とする。

【128】

- (1) 特定非営利活動法人シルバーフードサービス
- (2) 平成14年4月3日
- (3) 古谷 賢治
- (4) 四日市市昌栄町8番12号
- (5) 平成14年6月3日まで
- (6) 設立
- (7) この法人は、高齢者及び療養者に対して、給食事業・食事指導を行い、福祉の増進に寄与することを目的とする。

【129】

- (1) 特定非営利活動法人ふくろうの家
- (2) 平成14年4月4日 特定非営利活動法人の名称
- (3) 村林 靖
- (4) 安芸郡美里村大字家所五会内2447番地2
- (5) 平成14年6月4日まで
- (6) 設立
- (7) この法人は、心身障害児・者に対して、地域社会の中で文化、芸術及びスポーツを通して、良好な日常生活が送れるよう在宅支援をし、また、学童に対しては、学校週5日制にともなう豊かな余暇活動の指導に関する事業を行い、もって地域福祉や、子供の健全育成及び地域住民の健康で文化的な生活の向上に寄与することを目的とする。

(平成14年3月16日から平成14年4月15日申請分)

- 成立した特定非営利活動法人(登記年月日)
- 特定非営利活動法人災害ボランティアネットワーク鈴鹿(平成14年3月12日)
- 特定非営利活動法人あさひサービス(平成14年3月25日)
- 特定非営利活動法人With A Will(平成14年4月1日)
- 特定非営利活動法人ピギナズ(平成14年4月1日)
- (平成14年3月18日から平成14年4月15日登記完了届出分)

また、平成14年4月から完全学校週5日制が実施され、休みとなる土・日曜日を青少年がどのように過ごすかによって、社会性の形成に大きな差異が生じることが懸念されます。

そこで、青少年が様々な自然体験、生活体験や社会体験をし、有意義に過ごせるような受け皿を整える必要があります。

そのため、地域主導の取り組みが推進される仕組みとして、地域住民や地域の関係者が自ら考え、自ら実行する体制づくりと活動への支援を行うことにより、地域の教育力の再生を図ることを狙ってこの事業を実施します。

助成の対象となる団体 / 1・市町村 2・幼稚園・保育園・小学校・中学校及びそのPTA、自治会、老人会、企業、NPO、住民等の団体及び個人で構成し、地域における青少年育成活動を自主的及び主体的に行うことを目的に新たに設立された団体 3・2に規定する団体の設立を目的とする団体

助成の対象となる活動 / 1・補助対象団体1、2により計画された次の活動を実施するための事業

- (1) 自然、生活体験活動(キャンプ、宿泊活動、伝統芸能継承、乳幼児とのふれあい等)
 - (2) 社会体験活動(商業活動体験、農林水産業や地場産業の体験等)
 - (3) 科学技術体験(科学実験教室、科学ものづくり活動等)
 - (4) 親子体験活動(ハイキング、読み聞かせ、伝承遊び、工作等)
 - (5) 学習機会提供(講演会、子ども体験発表会、家庭教育講座、セミナー、フォーラム、子育て相談等)
 - (6) 地域ボランティア活動(環境保全に関する活動、福祉活動、挨拶運動、交通安全運動等)
 - (7) 地域イベント活動(祭り、スポーツ大会、コンサート等)
 - (8) 地域青少年交流交換(山間部と海岸部との交流会)
 - (9) 青少年の居場所整備、遊び場等の確保
 - (10) 地域住民を対象にした情報誌の発行
 - (11) その他地域の青少年の健全育成に必要なと認められる事業
- 2・補助対象団体の設立及び育成事業計画を策定するための事業
対象事業の期間 /

助成の額 / 1・対象事業の1の場合、補助金限度額15万円(ただし、2市町村以上の範囲で実施することが効果的及び効率的な事業については30万円)

2・対象事業の2の場合、補助金限度額15万円
問い合わせ先 / 三重県生活部青少年育成チーム(担当:鈴木、野島)
510-0009 津市羽所町700番地 Tel.059-222-5986
Fax.059-222-5979 E-mail seiiku@pref.mie.jp

(財)安田生命社会事業団研究助成

受付締切 / 5月7日(火)必着

- 助成の対象となる団体または個人 / (1) 当財団の講座・講演会の講師や刊行図書の執筆者などの個人・グループならびにその個人が所属する団体。
- (2) 上記1の方からの推薦による個人(含む大学院生)・グループならびに団体。
- (3) 当財団主催の講座や研究会などの参加者、実践情報通信誌「マイディックスぶらざ」の購読者(含む大学院生)
- (4) そのほか、当財団が認めた方。なお、過去に他機関から助成を受けたテーマによる応募と同一テーマの継続助成は除外。

助成の対象となる活動 / 【心理学的・医学的・社会学的研究】

- (1) 乳幼児期から学童思春期の問題に関する精神保健・福祉の領域(例:児童青少年精神医学、小児科学、教育学、心理学、社会学など)についての基礎的・臨床的な研究とします。
- (2) 家族・家庭の問題に関する精神保健・福祉の領域(例:家族精神医学、心理学、人間関係学など)についての基礎的・臨床的な研究とします。
- (3) 高齢者の問題に関する精神保健・福祉の領域(例:老年精神医学、心理学、社会学など)についての基本的・臨床的な研究とします。

【実践的研究】

- ・乳幼児期から学童期・思春期の子どもに関する精神保健・福祉の領域。
 - ・家族・家庭の問題に関する精神保健・福祉の領域。
 - ・高齢者の問題に関する精神保健・福祉の領域。
- 以上の領域における(1)実践活動をたちあげるための調査・研究。(2)現在実施中の実践活動の成果を調査・分析。

助成対象事業の期間 / 助成金交付から1年以内。

助成の額 / 心理学的・医学的・社会学的研究部門は20件をめぐりに1件50万円を限度、実践的研究は10件をめぐりに1件30万円をめぐりとして。

応募方法 / 所定の申請書に必要事項を記入し下記まで郵送。(申請書は下記問い合わせ先に連絡するか、ホームページよりダウンロード。(最寄りの安田生命本部・支社にもあります))

問い合わせ先 / (財)安田生命社会事業団研究助成担当係
170-0013 東京都豊島区東池袋1-34-5

フリーマーケット情報

【くわな駅前フリーマーケット(毎月第2日曜開催)】

- とき / 第13回 6月9日(日)AM10:00~PM4:00
- (雨天決行) ところ / 桑名駅前ロータリー
- 参加費 / 一般3000円・プロ4000円
- 申込・問い合わせ先 / 511-0079 桑名市有楽町50 桑名フリーマーケット協会
- Tel.&Fax.0594-21-2990 Fax.0594-76-1433
- E-mail kazuki-m@mue.biglobe.ne.jp
- 主催 / 桑名駅前商業研究会
- 後援 / 桑名市、桑名商工会議所

助成金 ニュース

家庭・学校・地域社会の連携強化による地域主体の青少年健全育成活動支援実施!!
青少年地域ふれあい環境づくり活動促進事業

受付期間 / 5月1日(水)~5月31日(金)
助成の目的 / 三重県では、平成11年に策定した『みえわかもの新世紀ビジョン』で示された「21世紀の三重県を担う心豊かでたくましい青少年の育成」を県民と協働して推進したいと考えています。
いま青少年の周りでは、社会の変化により人間関係が希薄化し、自然や社会などでの直接体験が少なくなり、青少年にとって社会の一員としての社会性が十分に育まれていないことが問題となっています。
しかし、「家庭や地域の教育力」の低下が叫ばれている中で、行政だけでは青少年が直面する諸問題に十分な対応ができない状況にあります。

Tel.03-3986-7021 Fax.03-3590-7705
E-mail yasudalife@nifty.com
ホームページ <http://village.infoweb.ne.jp/ymind/>

(財)ハウジングアンドコミュニティ財団

「知恵のネットワーキング」地域づくり活動支援助成2002

受付締切 / 5月22日(水) ただし、応募要項請求締切は5月14日(火)
助成の対象となる団体 / 地域密着型で地域を元気にし、魅力あるものにしていく活動に取り組む住民主体のグループ・団体。特定非営利活動法人を含む。
助成の対象となる活動 / 地域づくりやまちづくりへの取り組みとして、以下の2つのテーマを対象とします。

『地方のまちや地域の再生への取り組み』

『年と農山漁村など地域間の交流の取り組み』

例:農山漁村地域において、固有の産業などを生かしながら、地域やまちを元気にする取り組み。中心市街地に活気を取り戻そうとする取り組み。自分たちの生活を見つめ直し、より暮らしやすい環境の実現を目指す取り組み。身近な建物・ひろばなどの整備や公共的な施設の整備を媒介としながら人と人とのつながりを育む取り組み。農山漁村地域において、都市住民との交流を進める取り組みなど。

対象事業の期間 / 平成14年7月1日～平成15年3月14日

助成の額 / 1件あたり50万円を限度とし、15～20件程度を予定。

応募方法 / 応募要項および応募用紙はホームページからダウンロードし、A4サイズの用紙にプリントアウトして使用してください。郵送希望の方は5月14日(火)必着で送料分の切手(1部140円)を貼り郵送先を記入した返信用封筒(A4用紙が入る大きさ)を同封し、下記住所の「知恵のネットワーキング」係まで請求。

問い合わせ先 / (財)ハウジングアンドコミュニティ財団

105-0052 東京都港区赤坂1-5-11 新虎ノ門ビル5階

Tel.03-3586-4869 Fax.03-3586-3823 ホームページ <http://www.tokyoweb.or.jp/housingandcommunity/>

キリン福祉財団

受付締切 / 5月31日(金) 消印有効

助成の対象となる団体 / 福祉を目的とする民間団体。法人格の有無不問。
助成の対象となる活動 / 「地域における子育て支援ボランティア活動」... 少子高齢化社会にあって、次代を担う子どもの健全な育成は社会的課題になっています。他方、情報社会化、教育環境の変化、母親の就労、都市化などの進展によって、子どもをとりまく育成環境は大きく変化し、子育てについて地域社会でボランティアによる支えあいの仕組みをつくり支援することが強く求められています。このため、先駆的で地域への波及効果が期待される活動に対して助成を行います。

助成の額 / 総額1500万円。1件あたり上限は50万円。

応募方法 / 申込用紙に記入し、添付書類と共に郵送。用紙は下記に請求するか、ホームページから入手してください。

申込・問い合わせ先 / (財)キリン福祉財団事務局

104-8288 東京都中央区新川2-10-1

Tel.03-5540-3522 Fax.03-5540-3525

ホームページ <http://www.kirin.co.jp/foundation>

市民活動活性化モデル事業(市民ベンチャー事業)の公募

受付締切 / 5月31日(金) 消印有効

公募の目的 / 経済産業省では、女性や高齢者が主体となって活動している市民活動団体及びそれらを支援する団体などの活動主体が、情報ネットワークなどを通じて連携し、ベンチャー企業へと成長する機会を拡大させ、もって雇用の増大と新たな産業の創出を目指すこと。

公募の対象となる団体 / 民間法人・任意団体など(法人格は問わない)であって、国・地方公共団体以外とします。

公募の対象となる活動 / 女性・高齢者が主体となった市民活動事業者などが、ITを有効に活用・連携して、まちづくり、環境保全、生涯教育などの分野で対人・対事業者サービスを行う事業。また、事業を実施するにあたり必要となる法務・財務・教育研修などの業務を連携支援する団体などの市民活動等事業も対象となります。どちらの事業も、業としての立ち上げに意欲があり、今後3カ年以内をめどに雇用の受け皿や多様なサービスを供給しうる事業発展ビジネスプランを有するとともに、その事業を広く普及・啓発するものとして。

対象事業の期間 / 契約締結日～平成15年2月28日

支援の額 / 1000万円程度を上限とし、事業発展ビジネスプランに基づく事業計画の詳細検討と事業立ち上げに伴う情報化関連経費の負担を初年度のみ行います。

応募・問い合わせ先 / 中部経済産業局 産業振興部 サービス産業室(担当:青山、森下) Tel.052-951-0598 Fax.052-961-9885

(財)大同生命厚生事業団

受付締切 / 両助成とも5月31日(金) 必着

【サラリーマン(ウーマン)ボランティア活動助成】

助成の対象となる団体または個人 / 社会福祉の推進に役立つボランティア活動を行っているか、または行おうとするサラリーマン(ウーマン)の個人もしくはそのグループ。ただし、過去5年以内に本助成を受けた人(グループ)は除く。

助成の対象となる活動 / 1・高齢者福祉に関するボランティア活動、2・障害者福祉に関するボランティア活動、3・子ども(高校生まで)の健全な心を養うための交流ボランティア活動で、内容が先駆性、継続性、発展性があり、効果が予測できるもの。

例:(1)子どもと高齢者との交流、(2)子どもと外国人との交流、(3)子ども(高校生まで)の健全な心を養うための交流ボランティア活動で、内容が先駆性、継続性、発展性があり、効果が予測できるもの。(例:子どもと高齢者との交流、子どもと外国人との交流、健常の子どもと障害を持つ子どもとの交流、子どもと働く人々(職人、農家、芸術家など)との交流、不登校児・ひきこもりの子どもとの交流など)

いずれも目的、計画等が明確な日本国内での無償の活動とします。

助成の額 / 総額600万円以内。1件30万円(最高)20件以内。

【地域保健福祉研究助成】

助成の対象となる団体または個人 / 保健所、衛生研究所など衛生関係機関に所属する職員。都道府県市町村の衛生および福祉関係職員。保健・医療・福祉の実務従事者。

助成の額 / 総額3750万円以内。1件50万円(最高)75件以内。

応募方法 / 両助成ともFaxまたは電話などで下記まで所定の申込書を請求するか、ホームページからダウンロードし、B4サイズの用紙にプリントして使用してください。なお、研究助成は応募区分を明確にしてください。また、同時に両助成への応募はできません。

問い合わせ先 / (財)大同生命厚生事業団事務局

564-0063 大阪府吹田市江坂町1-23-5 大同生命江坂第2ビル内

Tel.06-6330-8452(代) Fax.06-6330-8652

ホームページ <http://www.daido-life-welfare.or.jp>

丸紅基金社会福祉助成事業

受付締切 / 6月30日(日) 消印有効

助成の対象となる団体 / わが国における社会福祉事業(福祉施設の運営、福祉活動など)を行う民間の団体。原則として非営利の法人。ただし、法人でない場合でも3年以上の継続的な活動実績があり、組織的な活動を行っている団体は対象となります。

助成の対象となる活動 / 上記団体が企画する事業案件で、下記の条件を具備するもの。明確な目的を持ち、実施主体、内容、期間があきらかであること。助成決定から1年以内に実施が完了する予定のもの。一般的な経費不足の補填でないこと。原則として国や地方公共団体の公的補助、もしくは他の民間機関からの助成と重複しないこと。

助成の額 / 総額1億円をめどに50件以上の助成を行います。1件あたりの助成金額は原則として200万円を上限とします。

応募方法 / 所定の申込用紙に必要事項を記入し、所定の添付書類と共に送付。申込用紙は郵便番号と住所、団体名、電話番号、Fax番号、丸紅基金の助成を知った経緯を明記し、ハガキまたはFaxにて下記まで請求。

問い合わせ先 / 社会福祉法人丸紅基金 100-8088 東京都千代田区大手町1-4-2丸紅東京本社ビル Tel.03-3282-2474・7014

Fax.03-3282-2462 E-mail mkikin@marubeni.co.jp

ホームページ <http://www.marubeni.co.jp/kikin/fund.htm>

助成財団センターは、助成、表彰、奨学などを行う財団法人・その他の法人などの情報を収集し、活動内容を広く社会に発信していくことを主な目的としています。その情報は冊子で刊行されているほか、ホームページやファクシミリサービスでも閲覧できます。

財団法人 助成財団センター

Tel.03-3350-1857 Fax.03-3350-1858

ホームページ <http://www.jfc.or.jp/>

▶▶▶▶▶ **がんばれネットワーク** ▶▶▶▶▶

三重県内の市民活動団体の人をリレーで紹介していきます。但し、紹介するに当たってはルールがあります。1・同じ地域で無いこと。2・同じ活動分野で無いこと。さてどんな人がどんなふうにつながっているのでしょうか。よさこいソーランを通じて、市民活動への関心を高めた高橋美帆さんが紹介してくれたのは、よさこいソーランをまちづくりの手段として活用している奥野光子さんです。

よさこいソーラン指導者を育成し、各地域へ派遣

.....奥野さんが活動を始めたきっかけを教えてください。
 商工会に所属して、女性部の部長を任せていただいたことがきっかけでしょうか。商工会では色々な勉強をさせてもらいました。なかでも、まちづくりには特に力を入れ、「どうすれば町が活気づくか」模索していました。そんな時に岐阜県で行われた全国おかみさんサミットに参加し、よさこいソーランを知ったんです。平成10年のことでした。ここでよさこいソーランの映像と、祭りを始めた長谷川岳さんの講演を聞いて「こんな祭りが小俣町でもできたらな」と思いました。
すぐに町内でよさこいソーランを始められたのですか？
 それが、その後すぐに体調を崩し、心臓にペースメーカーを入れることになってしまったんです。そのため、しばらくはふさぎ込んでしまっ...。そんな私を見かねた商工会の方が視察に誘ってくれて、静岡県三ヶ日町へ出掛けました。ここでもよさこいソーランを取り入れることで、町に活気が出てきたそうです。
よさこいソーランがまちづくりに向く理由は何でしょう？
 テンポが時代にマッチしているんでしょうね。これまでの踊りは民謡調のものが多く、どちらかと言えば年輩向き。まちづくりには子どもや若い人の力も必要です。よさこいソーランなら、今の子どもたちも一緒に、エネルギーをぶつけることができますからね。私はみんなのエネルギーが溢れるまつりを町でできれば...と考えていたのでぴったり合ったんです。それにソーラン節というのは元々、漁場で働く人たちの歌だったそうです。労働者の歌ということと、ロック調のリズムがうまくかみあって、みんなのやる気を起こさせる、元気になる、そういう源になっているんじゃないかと思えます。
小俣町でよさこいソーランを始めたのはいつですか？
 平成12年4月に発足。5月28日の第1回練習会には会場に入りきれないほどの人が押し寄せ、今までになかったテンポとリズムに酔いしれ、数百人の人々を一つにし、興奮に包まれた「おばたバサラ会」のスタートとして記念すべき日となったのです。あの時の感動は今でも忘れません。その後、参加チームも増え、名称を「南三重バサラ会」に改めました。
奥野さんが一人で声かけをしたのですか？
 いいえ、一人では始められませんよ。中内さん、畑さんと私。三人の

思いが一緒になって「やろう!」ということになったんです。
誘いかけは主に商工会のネットワークを使ったのですか？
 これまでは商工会の中だけで活動していましたが、この時はその枠組みを外して、地域の人々と一緒にやろうとしました。結果的にはそれが小俣町いっぱいにも広がっていった理由でしょう。ただ、志摩から紀州までという南三重のほとんどに広がっていくには、商工会のネットワークが必要不可欠だったと思います。
どのように呼びかけたのですか？
 私たちも最初、どこから声をかければいいのか考えました。よさこいソーランというのは踊りでしょう？それで「小俣町内で踊りをしているグループはどこか？」と考えたんです。小俣町にはレクリエーション協会という集まりがあり、フィットネスや体操、ダンスなどのグループが所属しているんです。それで、そこからいろんなチームに「よさこいソーラン、一緒にやっていただけませんか？」と声をかけ、賛同してもらいました。それから町広報で一般にも呼びかけました。もちろん、商工会のなかでもチームをつくりましたよ。
それでどんどん広がっていったのですか？
 ものすごい反響でした。でも、声をかけるだけではダメだったでしょう。レクリエーション協会にはいろんな踊りのグループがありますが、やっぱりそこで教えている先生たちは覚えも早いし、指導の仕方も上手なんです。まず指導者を育てました。そして各地へ指導に出掛けたんです。地元の小、中学校にも呼びかけました。なかでも明野小学校では、運動会のプログラムに取り入れてくれました。1年目はよさこいソーランを踊ったので、2年目は南中ソーランを提案したのですが、校長先生の方から「ずっとよさこいソーランで行きましょう。明野小学校の伝統にしたいから」とおっしゃってくださったんです。すごく嬉しかったですよ。学校で子どもたちが踊ってくれると、その子どもたちが地元のまつりにも参加してくれるんじゃないですか。子どもと地域が一体になって何かができる。それが一番嬉しいですね。
小俣町以外にも指導に行くのですか？
 もちろん声がかかればどこへでも飛んでいきますよ。志摩から牟婁、中勢と行きましたね。おかげで今、南三重バサラ会には約50チームが登録しています。一生懸命に取り組んでくれる所が増えてきました。とても嬉しいですね。実は私、身体のこともあって激しい運動はできないんです。だから、よさこいソーランも踊れません。でも指導には運転手として一緒に出掛けています。平日の夜は練習会、休日はまつり...。この2年間で18市町村、36回の地域のまつりに参加して、ソーランに明け暮れていましたね。
遠くまで出掛けるのは大変でしょう？
 でも、そのおかげでいろんな町の人と知り合いになれて、本当に良かったです。人との出会いは感動することばかりですよ。正直に言うと練習会の前は「疲れるから行きたくない」って感じなんです。でも、会場にたくさんの方が集まって、一生懸命に練習している姿を見ると元気が出てきて、「やらなくっちゃ!」って思っんです。この皆さんに支えられて、ここまでやってこれたのかな。夫は最初、反対していたんですが、北海道に旅行した時に偶然、よさこいまつりを見たらしく、戻ってきた時には「あれは凄かった!」って。それ以来、私



の活動に理解を示してくれるようになりました。時間も、金銭的にも、体力的にも確かに大変です。何度も辞めたいと思ったこともありますから。その度に「こんなことじゃダメ」と思い直して、これも一緒に活動しているみんなの力。それが私の支えになっているんです。

自分たちがつくるオリジナルの祭り

.....5月に大きなイベントをされるそうですね。

5月5日に伊勢市の県営サンアリーナで、私たちが考えた独自のまつり「伊勢の国 ふるさと祭り」を開催します。このネーミングには日本人の心のふるさとである伊勢神宮。全国からこの国に来て欲しい、参加して欲しいという思いが込められています。

一生懸命に練習している姿を見ると元気が出てきて、「やらなくっちゃ！」って思うんです。

.....どんな企画があるのですか？

2000名の会員のソーラン踊りや創作ダンス、地元の民舞など、あらゆるジャンルの踊りの競演。一切の決めごとは無く、細かい制約もなくて思い切り自由な踊りの採点、バサラの本領を十分に発揮する企画です。また、全体を通して環境に優しい祭りにしようと思っています。ゴミのポイ捨て禁止はもちろん、できるだけ食器を持参してもらったり、出るゴミを少なくしようと取り組んでいます。あと、子ども向けに環境に関連することが学べるコーナーもつくりました。

あと、やはり私は商工会に所属していますから、地場産業の発展を考えて物産展をします。これ、私の願いだったんですよ。

.....資金面はどうしましたか？

助成などは一切いただきません。参加者の会費500円と、記念誌の売上げでやり繰りしています。

.....記念誌を発行したのですか？

自分たちの活動を何かの形で残していきたいですから。これまで各地のまつりに参加したスナップやチーム紹介などをまとめて会員に販売します。これは畑さんのアイデアです。

.....今後、継続していくことも考えていますか？

もちろんです。いつか三重県全体の物産展と踊りをドッキングさせたいですね。そして北海道のよさこいソーランに負けられないような大きな祭りしていきたい。今はまだやりかけの状態。これから徐々に輪を広げていきたいと思っています。

車椅子社交ダンスを通じ、新たな繋がりを発見

.....南三重バサラ会以外の活動は？

車椅子社交ダンスのインストラクター養成講座の準備をお手伝いしています。8月の試験を目指して、月に1回、練習会を行っています。車いすダンスには「矢車草」という全国規模のNPO団体があるんです。小俣もその支部ということで、村田さんが支部長、私が事務局。村田さんはすでにインストラクターの資格を持っているんですよ。

.....以前からのお知り合いだったのですか？

手術をしたことで私は身体障害者の認定を受けました。それで去年から、ペースメーカー友の会から依頼されて、三重県の障害者の相談員をしています。でも、誰も私が相談員だなんて知らないんです。



子どもたちも大勢で参加。



車椅子の方々にもソーランを!!

よね。それで自分からいろんな方に「相談員をしている」と広報したんです。その話を聞いた村田さんが声をかけてくれました。村田さんとはソーラン繋がりのようです。

.....参加者は何人？

次の試験に向けて練習をしているのは30人ぐらいです。講師は村田さんで、8月には東京から来ていただきます。

.....障害を持った方もいますか？

2人います。すごく意欲的で「これまで障害がある人は家にこもっていたけど、これからはどんどん社会参加していく時代になった。僕らもいろんな場に出て、一緒にやりたい」とおっしゃって、ゆくゆくは施設の訪問などもしたいねと話しています。これまであまり、障害を持つ方と会う機会が無かったんですけど、これがいいチャンスになったと思っています。私もよさこいソーランは踊れませんが、車いすダンスのインストラクター資格は取って、高齢者や障害者の方といろんな活動をしていきたいと思っています。

.....奥野さんの活動は繋がりが大切になっているそうですね。商工会にしても、地域の人たちとの繋がりが大切ですしね。南三重バサラ会にしても、踊りで繋がりがついた結果です。踊りって繋がりがつくりやすい手段。私たちは手段としてよさこいソーランを取り入れましたが、今後は地元の踊り、伊勢音頭を中心に祭りをつくりあげていきたいんですよ。ソーランの囃子が入っていれば、後は独自性を出すというよさこいソーランと同じように、伊勢音頭を基調としたロック調の踊りをつくって、全国で踊って欲しいんです。そして、こころのふるさと、伊勢の国の祭りへ来て、踊って欲しい。南三重バサラ会のメンバーがどう思っているかはわかりませんが、私の思いは自分たち独自の祭り、そして踊りをつくりあげたいんです。5月の祭りが終わったら曲づくりに入ろうと話しています。参加チームのなかには自分たちでオリジナル曲をつくって、披露してくれる所もいっぱいあるんですよ。どんな踊りが出てくるのか、楽しみです。

.....これだけ活動していると、顔も広くなったでしょう？

もう、それはそれは(笑)、いろんな活動の事務局にもなっているので、よく電話がかかってくるのですが、私も外出が多いでしょう？子どもが怒るんです。電話の内容が何のことか、わからないって(笑)、でも、私の一番の理解者、それは家族だと思っています。

南三重バサラ会事務局

Tel.0596-22-0426 Fax.0596-24-0650

奥野光子さんはこの人を紹介します。

山口健一(やまぐちけんいち)さん

津市市民活動センター内にあるNPO法人交通事故被害者支援センターで活動をされています。

お
ね
が
い

市民活動ニュースに情報を提供される際、以下のことにご注意ください。
(1)原稿はニュースにそのまま掲載できる状態にして、毎月15日までに送ってください。

(2)送付はE-mailもしくはFaxで。その際、「市民活動ニュースへの掲載のお願い」と件名を明記してください。

Fax.059-222-5971 E-mail open@mienpo.net

転載を希望される場合は必ずNPO担当に連絡してください。



南勢地区に広がるソーラン。



小俣まつりでイセヤートコセを披露。